

令和5年度かさまつ子どもまちづくり会議 実施報告書

1. 事業概要

○目的

笠松町の児童生徒が、町のまちづくりに興味関心を持ち、現状のまちづくりに対する課題や解決策を検討し、それらを行政へ提言するとともに、児童生徒ならではの発想や意見を町の施策に取り入れることにより、町の更なる発展を目指す。

○対象者と参加者

町内の小中学校の対象学年へ募集チラシを配布し、参加者を募る。
応募があった16名(小学生5名、中学生11名)を「かさまつ子どもまちづくり委員」と呼ぶ。

○実施期間及び会場

令和5年6月から11月までに「かさまつ子どもまちづくり会議」を7回開催し、12月に発表会を行った。いずれも休日や夏休み中に実施し、笠松中央交流センター(旧:笠松中央公民館)を会議の会場とした。会議の時間は午前9時30分から午前11時30分までの2時間とした。

○実施内容

6月の初回の会議で、全体の会議の目標を「笠松町を自慢できる町にする」と決めた。委員16名が3つの班に分かれて、班ごとに12月の発表に向けた話し合いを7回実施した。各班で町へ提言したい発表テーマを1つに決め、委員が主体となって、現地視察や担当部署の職員から話を聞くなど、現状把握と課題の抽出を行い、対策を分析した。12月の発表会では、役場の議場で各班ごとに町長や町議会議員、教育長へ提言した。

2. 各会議の内容

7回実施した各会議の概要等は次のとおり。

第1回(6月18日)キックオフ

申込みがあったかさまつ子どもまちづくり委員16名(小学生5名、中学生11名)へ、当該事業の趣旨説明を行った。

テーマとして、「笠松町を自慢できる町にする」と決定し、参加者全員で自己紹介やゲームを通じて交流を深めた。

また、3つの班を作り、町へ提案したいことを話し合った。

第2回(7月16日)

班ごとで、町の問題と課題を抽出し、町へ提案したいことを分類(環境、歴史・文化、スポーツ・遊び、学校、その他)ごとに書き出し、各班ごとに発表テーマを決めた。

また、テーマに沿った課題や調べてみたいこと、視察先(役場の担当部署へ質問に行く。公共施設へ見学に行く。専門家の話を聞く。)などについて話し合った。

<発表テーマ>

A 班 ゴミについて

B 班 プールと安全について

C 班 ネコについて

第3回(8月2日、8月3日、8月8日)

夏休み中の平日を利用して、各班で公共施設などの現地視察と担当部署の職員から話を聞いた。

<視察先など>

A 班 (有)内田商会北及営業所へ視察と担当職員から話を聞く。

B 班 笠松小学校へ視察と担当職員から話を聞く。

C 班 担当職員から話を聞く。

第4回(8月20日)

各班の進捗状況(目標とゴール)を確認した。

また、発表に向けてのルールを確認し、発表イメージを持った。

第5回(9月17日)

今後建設課で作成の自転車ヘルメット着用啓発動画について、動画に取り入れてほしい内容について意見を出した。

その後、各班ごとに発表資料の作成について各自の役割分担を決定し、タブレットを使ってパワーポイントの作成に取り組んだ。

第6回(10月15日)

前回に続いて発表資料を作成した。

次回の会議で発表リハーサルを行うため、今回で完成させる意気込みで取り組んだ。

第7回(11月23日)

次回が発表会となり、最後の「まちづくり会議」の開催となった。

当日の発表に向けて、本番さながらのリハーサルを行い、各班で最終調整を行った。また、各班の発表テーマを最終決定した。

<発表テーマ>

A 班 笠松町のごみについて

B 班 笠松町の交通安全と防災

C 班 猫について

3. 令和5年度かさまつ子どもまちづくり会議発表会

○開催日時

令和5年12月3日(日) 午後2時～3時

○開催場所

笠松町役場 4階議場

○出席者

かさまつ子どもまちづくり委員 14名 (2名欠席)

かさまつ子どもまちづくり委員保護者 14名

町議会議員 10名

羽島郡二町教育委員会 教育長・社会教育課長・教育委員 3名

学校関係者(校長先生・担任教諭) 9名

○内容

▽これまでの活動紹介

町教育文化課より、プログラム表に沿って説明

▽各班の発表

A班 笠松町のごみについて

B班 笠松町の交通安全と防災

C班 猫について

▽講評

古田町長

皆さんありがとうございます。3班それぞれ自分達でテーマを見つけて、実際に現地に行ったりして上手にパワーポイントにまとめることが出来ました。今の発表も堂々とはきはきと説明できました。笠松の子はりっぱだと認識しました。それでは、班ごとの発表について講評をします。

A班は、ごみの問題を取り上げてくれました。発表の中でスポゴミ、競技としてのごみ拾い、とても面白いと思います。発表の中にもありましたが、すでに道徳のまちで実践していますが、ルールを変えて、より参加しやすく、中身の濃いものにしてもらっていましたし、出来ることなら参

加者を増やして、町民スポゴミ大会として定期的に行い、ごみの問題、ポイ捨て禁止への取り組みを広げていけたら嬉しいと思います。その時には力を貸してほしいと思います。

次に、B班は笠松町の交通安全と防災について発表してくれました。

発表の中でユーチューブを使って交通安全を呼びかける、とても素晴らしと思います。あわせて周りにいるおじいちゃん、おばあちゃんに交通事故に気を付けてねと呼びかけてくれると皆さんハンドルを握ったり、道路を歩く時も、より一層交通事故に気を付けると思うので、ぜひとも呼びかけをお願いしたいと思います。

安心安全、交通安全も防災もですが、人ごとではなく自分のこととして、これからもとらえて提言していただきたい。

そして、C班の猫についてです。

笠松町内にはいろいろな所で猫の問題があり、のらねこもたくさんいます。

一匹でも多く救って命を大切にすることを広げていきたい。

そのためにも今日発表された皆さんをはじめ、小中学生の若いみなさんのエネルギーを借りたいと思います。

猫の活動で一番大事なものは、最後の方に提言があった飼い主のマナーだと思います。

しっかりと自分で預かった命は、最後まで面倒をみる。猫に限らず、犬もいろいろなペットですが、小さな命を守ることが思いやりや、ぬくもりがある笠松町をつくっていくことに繋がりますので、こういった活動に参加して力を貸してほしい。

皆さん笠松町のことをしっかりと考えてくれて、自分達で出来ることを探して実行しようとしてくれる姿勢に心をうたれました。

今は小中学生ですが、大人になっても今の気持ちを忘れずに、出来ることなら役場に入ったり、議員さんになったりと、表舞台に立って、地域で、ボランティアで、町内会で先頭に立って、笠松町を将来にわたって、盛り立てていただくことをお願いします。

本日はありがとうございました。引き続きお願いします。

尾関町議会議員

皆さんがこういった会議に参加されることはとても素晴らしいです。

皆さんが一生懸命、笠松町を良くしようと考えてくれたことがすごくよくわかって嬉しく思っています。

A班は、スポゴミを広げていくアイデアは素晴らしい。すぐにでも町で取り組むことが出来ると思います。皆さん自らが率先して活動に取り組み、大人も巻き込んでどんどん広げていただけると嬉しい。

B班は、がたがたの道は危ないです。気になったら役場または議員に教えて欲しいです。皆さんが率先して交通ルールを守っていただき、周りの方に伝えて広げてください。先ほどのユーチューブに投稿するアイデアも素晴らしい。防災に関して、プールを利用する画期的なアイデアがありました。議会としても検討していきたい。

C班は、笠松町ののらねこの被害を減少させるためのアイデアですが、ネコカフェをつくったり、空き家を保護シェルターにするという素晴らしいことです。検討をしっかりと、のらねこと町民がハッピーになるという対策も考えていきたいと思います。

飼猫は家の中で飼う、リードを使って散歩するのは今すぐにでも実践できるのでしっかりと広げていけたらと思います。

最後に2点、話をさせていただきます。

1つは、今回、自らテーマを考えていただいたが、その他のテーマもあると思いますのでこれからもいいアイデアを考えて出していただきたい。

2つめは、地方へ旅行へ行った際には笠松町には無い文化や歴史など、笠松町と違うところを考慮いただき、笠松町に活用出来るいいアイデアがあれば教えていただきたい。これからも笠松町のために皆さんの力を貸していただきたい。

野原教育長

最初にお礼を言います。これまで笠松町のことをきちんと考えてくれてありがとう。

私からは感想として、素晴らしいなと思ったことを3点、皆さんに対することを1点、お話をさせていただきます。

はじめに、まちづくり会議に参加しようと思った皆さんの姿勢がすごく立派だと思います。

今はやってもらって当たり前という空気感が世の中流れていますが、そうじゃない、やっぱり生きていく自分たちの問題、自分たちの生活、当事者意識を持たなくてはいけないとっていて、こうして会議に参加してくれていることは自分の問題、自分のこととして受け止めて、提言してくれた姿勢に感動するし素晴らしいと思います。

2つ目は、具体的に提言に向けて、町の実態の把握をし、客観的なデータがありました。

実際の現場を目で確かめる、動いて確かめる、自分達で動けることが素晴らしいし、君達の提案を聞いて初めてわかったが、実感を持たないと問題意識がうまれてこない、自分の足で、目でかせいだ情報をもとに提言してくれたことが素晴らしい。

3つ目、それぞれの願いに向けて、笠松町の実態とのずれをどう埋めるのかが皆さんの発想の素晴らしさでした。

スポゴミ、ユーチューブ発信、ネコカフェ、プールの活用、いずれにしても皆さんの提言がなされたことが素晴らしい。

最後に、皆さんに期待することです。皆さんはまだまだ柔軟な発想が出来ます。マイナスからゼロという活動、ゼロからプラスという活動もあります。

笠松町の良さをアピールしながら、さらに住みよい町の目指し方もあるのかなと思いながら、そんな点も皆さんに期待を込めながら感想を述べさせていただきました。

本日はありがとうございました。

▽感謝状と記念品の贈呈

古田町長より、各班長へ感謝状と記念品を贈呈した。

4. 新聞掲載

中日新聞朝刊に掲載。

5. かさまつ子どもまちづくり委員の声（本事業の全体的な感想等）

笠松町の現状を知れて、良かったです。
みんなで話しあうのは楽しかったけれど、時間が短い。もうちょっと少人数でやりたかった。
やりがいがあった。ほかの学校の人と交流できた。
グループの人たちと楽しく笠松町のことを考えることができた。他のグループの提案は資金を考えていておもしろいと思った。実際に参加したことはいい体験ができた。
自分の班の仲間と交流し意見を言え、発表できた。班の意見をまとめ、その意見に合わせたパワーポイントを作り、発表したので、集まる日以外にも活動し大変だったが楽しかった。
班のみんなでプールなどの場所を見に行ったりするのが楽しかった。笠松町にはいろんな課題があると分かったので、これからは自分から積極的にボランティアなどに参加して笠松町に協力できたらいいと思いました。
普段話せない議員に対して提言できたり、仲間と楽しくやれた。普段視察できないところに入れた。自分達で考え発表したことが楽しかった。考えたことがほめられてうれしかった。
これまで考えたことが全て発表できて楽しかった。はじめてボランティアに参加したから心配だったけど楽しくできた。笠松町のことは、このボランティアをする前はあまり知らなかったけど、笠松町にはたくさんの課題があることを知り驚きました。その課題をなくすためにいろいろなアイデアを出し合い、楽しくまとめられて楽しかった。
みんなと楽しく会議できたし、本番でも緊張したけど町長さんに思いが伝わったので良かった。
みんなと活動して楽しかった。町長達にしっかりと発表できたので良かった。
町に関われて楽しかった。町に提案することを考えて発表できて良かった。
参加できない日があった。ほかの学校の人や、クラスのちがう人たちと交流ができて楽しかった。